



◆ 富岡サッカークラブとは

サッカーにおける「技術力」・「知覚力」・「判断力」 と同時に、
社会・地域・チームの中で逞しく生きる「人間力」 を育む、サッカーコミュニティ

● **設立：1974年4月**

「富岡ひかりヶ丘スポーツクラブ」として発足

その後、サッカーを中心に横浜市金沢区富岡地域全体に活動が広がり、団名を

「富岡サッカークラブ」に変更して、現在に至る

● **活動地域**

横浜市金沢区、磯子区のグラウンド、小学校を中心に活動

● **加盟団体**

日本サッカー協会、神奈川県サッカー協会、横浜市サッカー協会、金沢区少年サッカー協会、
横浜南部少年サッカー同好会





◆ クラブ理念

● 子（己）育てコミュニティ

サッカーを通して子供達が「人間力」を育み、社会で逞しく「生きる力」を身に付ける
サッカーという団体競技の中で、身に付けた「人間力」＝「個力」を発揮し、さらに育む

※富岡SCが大事にする「人間力」

個性、社会性、組織性（チーム力）、協調性、地域性、多様性

● 地域との共存共栄

地域の方々・団体と共に活動し、地域で愛されるクラブとなる

● サッカー環境の構築・維持

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もがサッカーを楽しめる環境を作り、維持・拡大する





◆ クラブ目標

- 卒団員からJリーガー、日本代表選手の輩出
 - 卒団員のOBコーチの輩出
 - 親コーチから専任コーチの輩出
 - 地域学校・団体向けのサッカー教室の定期的実施、交流
 - 女子チームでの公式戦出場
 - 障がい者クラスの設立・拡大
 - 障がい者チームでの試合出場
 - 3種・2種年代、社会人、シニアのクラスの設立
- ...





◆ コーチ（指導者）の役割

- **基本スタンス：「Players First！」** ゲームは子供達のもの

子供達にとって、何が一番良いのかを基準に考える

子供達にとって、どういう指導者、大人であるべきかを考える

- **サッカーを自ら楽しみ、子供達にサッカーの楽しさを教える**

「子供の笑顔は上達の合図」

- **子供達の成長のための環境を整える：「トレーニング環境」と「ゲーム環境」**

良いトレーニング環境：数多くボールに触れる機会、子供達と十分なコミュニケーションが取れる適正人数、

子供達が思い切って生き生きとトライできる雰囲気、等

良いゲーム環境：全員が試合に出る、よりボールに触れる少人数制ゲームの採用、様々なポジションを体験、等

- **フェアプレー・リスペクト（後述）を実践し、子供達に伝える**

フェアプレー：仲間・試合相手・審判・コーチに敬意を払う、勝利を目指して最後まで全力でプレーする





◆ リスペクト 「大切に思うこと」

大好きなサッカーを毎日楽しむために大切なもの。大切に思い、感謝する。

- 保護者・家族： 親、家族がいるからサッカーができる
洗濯、送り迎え、食事・お弁当作り、応援、・・・
- チームの仲間： 仲間がいるからサッカーの練習・試合ができる
- ボール等の用具： 用具があるからサッカーができる。自分で手入れをする
- グラウンド： 練習・試合をする大切な場所。汚さない、使ったら整備する
- ルール： ルールがあるから試合が成り立つ。覚える、理解する
- 審判： 審判がいるから試合が成り立つ、試合がコントロールされる
- 試合相手： 敵ではない、対戦相手。自分達の力を試し、試合を楽しむための大切な仲間
見下さない、おそれない。同じ立場でのぞむ。リスペクトの証として握手する
- 試合関係者： 大会、試合ができるように準備をしてくれる
- コーチ： 練習メニューを考え、指導してくれる





◆ コーチ（指導者）のあり方

- 子供達の権利や尊厳、人格、個性を尊重し、公平に接する
- 子供達の人格や個性を傷つける言動、態度を取らない
- フェアプレー・リスペクトを実践する
- 「グッドスタンダード」 子供達の良い見本である、大人の姿は子供達に大きな影響を与える
サッカーやトレーニングに臨む姿勢、試合に臨む姿勢、審判や試合相手に対する態度、等に気を付ける
- 勝利至上主義に陥らない、目の前の勝利だけを追求せず、子供達の今後の成長を大事にする

【参考】 こんな（良い）指導者に出会っていますか？（JFAハンドブック：「めざせ！ベストサポーター」より）

- ・子供が好き
 - ・情熱がある（研究熱心・向上心）
 - ・明るくさわやか（言葉遣い・服装・礼儀・挨拶）
 - ・忍耐力がある（指導には時間がかかる）
 - ・子供のレベルに自分をコントロールできる
 - ・モラルがある
 - ・デモンストレーション（実際にやってみせること）ができる
 - ・オープンマインド（※）である
- ※. 心を開いて人の意見を聞き入れられること





◆ コーチングスタッフ体制の変更について

従来の学年単位の体制から、2023年度より「カテゴリ制」のコーチングスタッフ体制に変更する。

● 背景

少子化等の影響により団員数が減少し、単一学年でのチーム編成が困難になってきた。

また、団員数減少と同時に親コーチの人数も減り、単一学年での練習・試合の実施が難しい場面が増えてきた。

● 体制変更の目的

目指すべきは「団員の成長」。そのために「練習と試合の機会を十分に確保」する。

近隣クラブ同様に、公式戦の参加資格に合わせたカテゴリ制（2学年）での練習・試合の実施とすることで、団員の試合出場機会を増やせる。

また、2学年のコーチによる運営で、練習・試合に柔軟な対応ができ、より団員の成長に繋がられる。





◆ 新コーチングスタッフ体制

総監督（代表）	統轄
全体育成担当	顧問
G K 育成担当	代表
審判育成担当	副代表

- ・ **総監督**： クラブ全体管理者。公式戦の登録・管理
- ・ **全体育成担当**： クラブ育成方針、各カテゴリの育成・強化方針、コーチの指導力強化の方針の作成・実践
- ・ **G K 育成担当**： G K 育成方針検討、G K 練習実践
- ・ **審判育成担当**： 審判育成方針検討、4級審判コーチの指導

・ **統轄**： コーチングスタッフ体制の統轄管理。監督や体制上の問題があった時の対応・判断を実施

U12カテゴリ （5～6年）	U10カテゴリ （3～4年）	U8カテゴリ （1～2年）
U12監督	U10監督	U8監督
専任コーチ	専任コーチ	専任コーチ
O B コーチ	O B コーチ	O B コーチ
6年親コーチ	4年親コーチ	2年親コーチ
5年親コーチ	3年親コーチ	1年親コーチ

幼稚園クラス
専任コーチ
幼稚園親コーチ
チャレンジクラス
監督
専任コーチ
親コーチ
水曜日練習
専任コーチ
親コーチ

- ・ **カテゴリ監督**： カテゴリ責任者
カテゴリコーチと協力・分担し、対象カテゴリの育成・強化方針を実践する。
対象カテゴリでのコーチの役割分担や対応方針をコーチ会議等を取り纏め、最終判断する。
- ・ **親コーチ**： 団員の保護者によるコーチ
自分の子供のカテゴリ・学年を担当する。
担当学年の運営を担当し、各学年から1人をヘッドコーチ（クラブ内・他学年・各学年内の連絡・取り纏め）として選任する。
- ・ **専任コーチ**： 親コーチではない、カテゴリ担当コーチ
- ・ **O B コーチ**： 富岡SCのO Bによるコーチ



富岡サッカークラブ (富岡SC)



◆ 2023年度コーチングスタッフ体制 (案)

総監督 (代表)	石場(D)
全体育成担当	有吉(C)
G K 育成担当	坪田(C)
審判育成担当	上條(D・3級)、小山(3級)、上川(3級)

統轄
菊地顧問
藤田副代表

凡例

★：ヘッドコーチ、 *：兼任
()内：資格

C・D：JFA公認指導者C級・D級

3級：JFA公認審判3級 (4級は省略)

知的B：JFFID公認知的障がい者サッカーB級コーチ

初級：初級障がい者スポーツ指導員

U12カテゴリ (14名)

U12監督	有吉(C)
専任コーチ	東山(D)、*山本(D)、樋口、渡邊
OBコーチ	西村、野村
6年親コーチ	★佐々木(D)、露木、今、長谷川
5年親コーチ	★坪田(C)、菊池(D)、川端

U10カテゴリ (12名)

U10監督	石場(D)
専任コーチ	藤田、横田(D)
OBコーチ	-
4年親コーチ	★中山(勝)(D)、井上(D)、松本、星野
3年親コーチ	★中山(雄)、植松、島村(D)、小坂(D)、出口

U8カテゴリ (15名)

U8監督	杉山(D)(2023年度限定)
専任コーチ	上川、*足利
OBコーチ	-
2年親コーチ	★相川(D)、*杉山(D)、松浦、杉本
1年親コーチ	★岡、永峯、高橋、坪池、熱田、齊藤、鬼木、楠、*小坂(D)

幼稚園クラス (4名)

専任コーチ	西本(C)、*坪井
親コーチ	高橋、渡邊

チャレンジクラス (16名)

監督	山本(D・初級)
専任コーチ	上條(D・初級)、榊原(初級)、石川、小山、小山琢、岸田、羽鳥、林、鈴木、坪井、*東山(D)
親コーチ	*★有吉(C・知的B・初級)、大塚、足利、横山(初級)

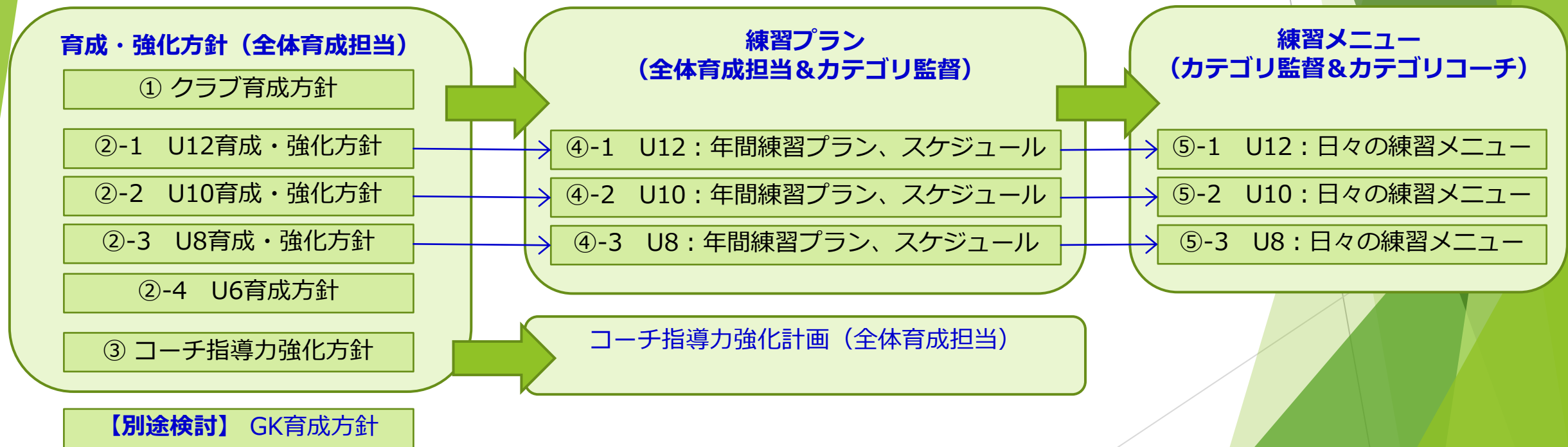
水曜日練習 (2名)

専任コーチ	生方(D)、杉本
-------	----------



◆ 育成・強化の体系： 育成・強化方針／練習プラン／練習メニュー

- 育成強化方針： ①クラブ育成方針、②カテゴリ単位の育成・強化方針、
③コーチの指導力強化方針
- 練習プラン： ④カテゴリ単位の年間の練習プラン、スケジュール
- 練習メニュー： ⑤日々の練習メニュー





◆ 目指すサッカー

選手1人1人が考え、判断し、チームとして連動するサッカー

● サッカーのプレー

サッカーのプレーは



の連続である

● 狙い

サッカーはチームスポーツである。

局面では個の勝負となるが、基本チーム全員で連動して、チームとして、攻め・守る。

選手1人1人が、状況を観る、次のプレーを予測する、複数の選択肢からチームとして最適と思うプレーを選択する、そのうえで日々の練習で磨いたスキル（個人テクニック・個人戦術・チーム戦術）を発揮する。

そして、勝つ。

そのようなチームを作る、選手を育成する。





◆ クラブ育成方針

サッカー選手の成長は、「トレーニング」と「試合（ゲーム）」から成る。

「選手1人1人が考え、判断し、チームとして連動するサッカー」をU12でプレーしている状態を目指し、後述のトレーニング方針とゲーム方針に基づいたプランに取り組む。

目指すサッカー

選手1人1人が考え、判断し、
チームとして連動する

U8育成・強化方針

- 個人テクニックの基本：
「蹴る」と「止める」
の練習を徹底し、自分のものにする

U8（プレ・ゴールデンエイジ）

学校生活が始まり、多様な経験から
ゴールデンエイジの準備をする

U6（キッズ年代）

サッカーと出会い、
サッカーを楽しむ

U6育成方針

- 体をたくさん動かす
- ボールをたくさん触る
- サッカーを楽しむ

U10（ゴールデンエイジのスタート）

「即座の習得」により、サッカーに
必要なあらゆるテクニックの獲得に
最適な時期のスタート

U10育成・強化方針

- 多くの個人テクニックを繰り返し実践する
- サッカーの目的・原則を学び、理解する
- 攻撃・守備の個人戦術を理解し、実践する

U12（ゴールデンエイジ）

多くのテクニックを習得し、ゲーム
の中で実践し、さらに個を伸ばす

U12育成・強化方針

- 体得した個人テクニックをゲームで実践し、
質（スピード・パワー）をさらに上げる
- 個人戦術・チーム戦術を使い、チームで
攻撃、守備をする





◆ トレーニング方針

クラブ育成方針と各カテゴリの育成・強化方針を実現するためのトレーニング方針は以下の通り。

	U6	U8	U10	U12	(参考) U14
体得対象	キッズ年代 ~サッカーとの出会い~	プレ・ゴールデンエイジ ~サッカーの楽しさを伝える~	ゴールデンエイジ ~実戦的なテクニックの定着~	ゴールデンエイジ ~実戦的なテクニックの定着~	ポスト・ゴールデンエイジ ~より個人に目を向けた指導~
サッカーを楽しむ	体を動かす、ボールを扱う、試合をする、 ・・・ ことを楽しむ	多くのプレーを経験し、楽しめる ボールを思ったように扱える 仲間と一緒に試合を楽しめる 試合の勝利を喜べる	多くのテクニックを身に付ける、試合で発揮できる 仲間と一緒に試合の勝利を喜べる、仲間と一緒に次の目標を設定できる	練習したチームプレーを試合で発揮できる	テクニックの質を上げられる (スピード・パワー) チーム戦術を深め、発揮できる
【実行】フィジカル	サッカー以外の多くの遊び (おにごっこ、尻尾取り等)	基礎コーディネーション (全般) (走る・投げる・跳ぶ、・・・ ⇒ラダーやハードル等)	専門コーディネーション (サッカー) (ドッジング、ボディコンタクト、スクリーン等)		持久力
【実行】個人テクニック キック コントロール ドリブル 守備 ヘディング (準備：4年から、実施：5年から)	数多く蹴る (インサイド・インステップ) ボールを止めてみる ボールタッチ ボールに向かう	インサイドキック・インステップキック (両足) インフロントキック・アウトサイドキック (両足) グラウンダーを止める (インサイド・アウトサイド・足の裏、両足) 浮き球を止める (体で・インサイド・アウトサイド・足の裏、両足) フェイント&ターン 体で覚える	フェイント&ターン 相手に・スピードで 1対1：正対している相手 1対1：スクリーンしている相手 落下地点に入る	状況 (グラウンダー・浮き球) に応じたキック (全種類のキック、両足) プレッシャーの中、状況 (グラウンダー・浮き球) に応じて、ファーストタッチでかわし、運ぶ (全部位、両足) 流れの中で、緩急を使い、フェイント&ターンで相手をかわし、スペースにドリブル 流れの中での1対1の実践 ヘディング基本当てる ジャネットがハット 試合の中でヘディング実践	(U12に引き続き) 「動きながら」 「正確に」行い、 「観ながら」 「状況に応じた判断をして」 テクニックを発揮
GK育成は4年から。 育成方針は別途検討					



◆ トレーニング方針（続き）

体得対象	U6 キッズ年代 ～サッカーとの出会い～	U8 プレ・ゴールデンエイジ ～サッカーの楽しさを伝える～	U10 ゴールデンエイジ ～実践的なテクニックの定着～	U12 ゴールデンエイジ ～実践的なテクニックの定着～	(参考) U14 ポスト・ゴールデンエイジ ～より個人に目を向けた指導～
<p>【理解】 サッカーの目的、仕組み プレーの原則 攻撃・守備の目的と手段</p>			<p>サッカーの目的：「ゴールを奪う。ボールを奪う」</p> <p>4つの局面（攻撃・攻撃から守備・守備・守備から攻撃）と原則 オン・ザ・ボール、オフ・ザ・ボール</p> <p>3つのエリア（攻撃／中盤／守備）</p> <p>攻撃の目的：「ゴールを奪う」と手段</p> <p>守備の目的：「ボールを奪う」と手段</p>		
<p>【把握・予測・判断・実行】 個人戦術</p>			<p>攻撃の個人戦術（シュート・ドリブル・パスと動きの優先順位・マークを外す動き）</p> <p>守備の個人戦術（1stDF・チャレンジの優先順位・マークの原則・チャレンジ&カバー）</p>	<p>試合での 攻撃・守備の 個人戦術の実践</p>	
<p>【把握・予測・判断・実行】 チーム戦術</p>				<p>攻撃のグループ戦術 （アイコンタクト・背後を狙う・パス&ムーブ・サポート・コンビネーション・中央突破とサイド攻撃）</p> <p>守備のグループ戦術 （1stDFと2ndDF・チャレンジ&カバー・縦パスへの守備・プレバック・横と縦へのスライド等）</p> <p>攻撃のチーム戦術 （ビルドアップ⇒ボール保持と前進⇒突破）</p> <p>守備のチーム戦術 （ハイプレス⇒ミドルプレス⇒ロープレス）</p> <p>守備から攻撃へのチーム戦術 （カウンター、セーフティーなボール保持）</p> <p>攻撃から守備へのチーム戦術 （切替時のプレス、守備の態勢を整える）</p>	



◆ ゲーム方針

「M-T-M」（マッチートレーニングーマッチ）

ゲーム（マッチ）で課題を見つけ、トレーニングで次のゲームに向けて準備をし、より良いゲーム（マッチ）を目指し、積極的なトライ&エラーを重ねていく

Match	ゲームでプレー（課題発見）
Training	トレーニング（改善）
Match	ゲームでトライ（より良いプレー）

● 「M-T-M」の目的

主に公式戦に向けて、チームの成長を狙いとして、課題を特定する。

ゲームの実施にあたっては、コーチがゲームの目的を明確にして、必ず課題を想定しておく。

ゲームの際、選手に具体的な指示をして、チャレンジさせた上でゲームの結果から課題を特定する。

なお、M-T-Mは、U8～U12を対象とする。

公式戦がないU6は、ゲームは楽しむことのみを目的として、M-T-Mは基本行わない。





◆ ゲーム方針（続き）

● 「M-T-M」の間隔

実戦を通じて成長していく機会が多い U12は、状況に応じて、M-T-Mの間隔を短く設定することもよい。一方、練習を通じてスキル習得する U8・U10は、M-T-Mを頻繁に行うのではなく、Training期間を十分設け練習することが望ましい。各カテゴリにおけるM-T-Mの間隔の目安は以下の通り。

U12	トライする試合（公式戦）の2～3週間前にゲーム、Training期間は1～2週間
U10・U8	トライする試合（公式戦）の3～4週間以上前にゲーム、Training期間は2～3週間以上

● 練習での「M-T-M」の活用

Training Match（TRM）を1日設定し、次の練習日にTRMで特定できた課題に対してTrainingするという形式だけが、M-T-Mではない。

TRMを1日実施する形式では、課題に対するTrainingをすぐに実施できない。

練習の途中にゲームを行い、その場で選手と課題を共有した上でTrainingする、また最後にゲームをするという、1日の練習の中でのM-T-Mを活用することも効果的である。





◆ ゲーム方針 (続き)

【参考】各カテゴリの公式戦・招待試合

公式戦 招待試合

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
U12	A チーム	横浜市 U12リーグ前期					横浜市 U12リーグ後期		ジュニアレブンカップ		県大会		
	BC チーム		金沢区大会 (夏季)		シーサイドカップ A				なぎさ公園大会			金沢区大会 (冬季)	なぎさ公園大会
U10	A チーム	横浜市春季大会	金沢区大会 (夏季)				横浜市国際フットボール大会		ジュニアレブンカップ		県大会		上中里杯
	BC チーム		金沢区大会 (夏季)	KOYOリーグ (月1回) (任意参加)								金沢区大会 (冬季)	
U8	A チーム		金沢区大会 (夏季)				横浜市国際フットボール大会		ジュニアレブンカップ			金沢区大会 (冬季)	
	BC チーム		金沢区大会 (夏季)									金沢区大会 (冬季)	

